

東京湾水先区水先人会・会報

# ANJIN

## 新年号

2016 Winter vol.1

季刊・創刊号



<http://www.tokyobay-pilot.jp>

ANJIN 新年号 2016年1月1日発行  
発行所／ 東京湾水先区水先人会  
発行人／ 副会長 井上 好雄  
〒231-0023 横浜市中区山下町1番2  
パイロットビル  
TEL 045-650-3180



# 「ANJIN (按針)」とは…

そう、水先人「パイロット」のことです。  
水先艇(水先人送迎ボート)にはぴったりの名前ですね。



## あん-じん【按針】

磁石によって船の航路を決めること。また、その人。水先案内。按針手。  
《補説》水先案内の意の「あんじ(行師)」の変化したものか。

## みうら-あんじん【三浦按針】

《1564～1620》日本へ来た最初の英国人といわれるウィリアム＝アダムズ (William Adams) の日本名。オランダ船リーフデ号の水先案内人として慶長5年(1600)豊後に漂着、外交顧問として徳川家康に仕え、相模三浦郡に所領を与えられた。

(上記2件とも、「デジタル大辞泉」から転載)

## 目次 Contents

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 新年のご挨拶 会長 石橋 武                | 4     |
| 会報「ANJIN」創刊のご挨拶 副会長・発行人 井上 好雄 | 5     |
| まいジョブ・ぐっジョブ                   | 6-7   |
| 「水先人の仕事」と「水先人会の組織」            | 8-11  |
| わたしのお気に入り ～職場のなかま～            | 12-13 |
| われらの「遊び場」横浜編                  | 14-15 |
| 東親会だより                        | 16    |
| トピックス・人事短信                    | 17-18 |
| 広報チーム メンバー紹介                  | 19    |

表紙／海図コピー(海上保安庁・海図 W66 から転載)



# 新年のご挨拶

会長 石橋 武

東京湾水先区水先人会会員の皆様、  
新年明けましておめでとうございます。

この度、水先人会としては全国的に初めてとなる「会報」を発行する運びとなり、ここにその創刊号をお届けします。

突然、会報が手元に届いて驚いている会員の皆様もおられるかと思いますが、実は昨年6月の新執行部発足の頃から、船藏常務理事の発案により会報発行の構想が練られ、10月に水先人及び陸上職員で構成される広報チーム(仮称)が発足、ようやく創刊号が出来上がりました。広報チームの皆さんをはじめ、関係者の皆様のご努力とご協力に厚くお礼を申し上げます。

会報発行の目的は、水先人及び陸上職員全員の一体感を醸成し、水先人会という組織の求心力を高めることにより、水先人の技術の維持・向上を図り、併せて船舶交通の安全、運航効率の増進を図るといった共通目標に向けて邁進する風土造りに資することにあります。

日常の水先業務は、現場の水先人が、本船乗組員、曳船、綱取り艇との共同作業で行うことは勿論ですが、そこに至るまでには、水先利用者からの水先の引受、水先人の配乗、水先艇の手配があり、水先作業後には水先料の請求・収受の事務作業が続きます。そして時には事故の後始末、利用者からの苦情処理等、様々な業務が付随してきます。

水先人が滞りなく水先業務を遂行できている裏には、陸上職員のサポートがあることに思いを致す必要があり、東京湾内の安全且つ効率的な水先業務は、水先人プラス陸上職員、総勢213人が一丸となって担っているということです。つまりこれは海上の水先人と陸上の職員が、それぞれの業務をお互いによく理解し、尊重し合うという気風が醸成されなければならないことを意味します。

さて、平成19年に施行された新しい水先制度の下で、三つの水先人会が統合されて誕生した東京湾水先区は、会員数が国内最大の水先区となりました。統合の当初は、新制度に適合した水先業務を実施するため、技術的、人事的、組織的な諸問題を解決すべく多大な労力が注がれました。統合後8年余りを経過した今日、水先人会を構成する会員の51%は新制度で養成された水先人が占めており、着実に世代交代が進んでいます。今や水先人会は、二十代後半から七十代前半までの極めて年齢層の広い世代、更には経歴の異なる様々な幅の広い会員が集まり、安全運航という共通の目標に向かって結集する小さな社会となりました。この社会が纏まっていくためには、従来の縦の絆に基づく人間関係だけでなく、誰もが水先業に携わる仲間として新しい形のコミュニケーションの場を形づくる必要があります。この会報が、その方面で有効に活用されることを願ひまして、創刊号発行のご挨拶と致します。

# 会報「ANJIN」創刊のご挨拶



副会長・発行人  
井上 好雄

東京湾水先区水先人会の会報「ANJIN」の発行に際し、発行人としてその経緯を説明させていただきます。

平成18年改正水先法は、平成19年4月1日に施行され、同時に東京湾内の3水先区は、新しい東京湾水先区水先会に統合されました。その後、昨年(平成28年)の年末の時点で8年9ヶ月が経過し、統合後9年目に入っています。その間、公正取引委員会の立ち入り調査などの紆余曲折はありましたが、本年からは、報酬にかかわる新しい調整制度及び新しい就業表による水先業務が始まります。

このような節目の年頭を創刊目標として、昨年(平成28年)の9月下旬頃に、一役員より次のような事項を目的とした「会報」を定期発行したいとの提案がありました。

- ①水先人会の運営方針や目標の伝達、浸透及び共有のため。
- ②水先人及び事務局各部門の情報や知識等の共有のため。
- ③組織の求心力、一体感、繋がり等を醸成し、諸問題や問題解決のきっかけ作りのため。
- ④水先人及び事務職員のモチベーションアップ及びスキルアップのため。
- ⑤顧客、社会及び関係機関等外部からの情報フィードアップのため。
- ⑥風通しのよい活力ある風土作りのため。

その後、会長(石橋武)の了承のもと、水先人及び事務職員をメンバーとする広報チームを立ち上げ、準備を進めてきたところです。そして広報チームメンバーのご努力によりここに「ANJIN」創刊号を発行する運びとなりました。

この会報の発行目的は前記の通りですが、言い換えるならば、東京湾水先区水先会の名のもとに各水先人及び全職員が一体となり、水先法の目的「船舶交通の安全を図り、併せて船舶の運航能率の増進に資すること」を達成することではないでしょうか。

新しい制度による生まれ変わった水先会のスタートに際し、会報「ANJIN」を創刊できることは誠に喜ばしいこととあります。今後は、皆様に執筆等のご協力を頂き、目的に沿ったより有用な情報を掲載し、会報「ANJIN」をより一層充実させていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

# まいジョブぐっジョブ

オペレーション部の馬瀨詩織さんと昨年9月1日に入会したばかりの新人三級水先人に、「水先人会へ就職した理由」「水先人を目指した理由」を聞いてみました。今後とも、彼らへの応援をお願いします！！



オペレーション部  
**馬瀨 詩織**  
(まぶち しおり)

まずは、私の簡単な経歴から・・・。  
大学卒業後、大学院へ進学。  
修士課程修了後、英会話業界へ就職も、経営破綻。  
派遣職員として、水先人会へ。

## ー最初の就職は英会話業界

小さい頃からの夢は“先生”でした。幼稚園の先生だったり、学校の先生だったり。教育業界への興味は小さい頃からのことだと思います。大学時代の教育実習をきっかけに教師になろうと修士課程まで進みましたが、研究を進める中で、学生に教えるという立場ではなく、研究を活かして、子供から大人まで、色々な方へ学ぶ為のアドバイスをする立場になりたいと思い、英会話業界へ進みましたが・・・経営破綻しました。。

## ーなぜ英会話業界から水先人会へ？

教育業界への思い入れがある一方、船舶関係や港湾関係の業界に興味を持ったのは大学時代の就職活動時、何気なく、ふらっと立ち寄った、某船会社さんの説明会を拝見したことが大きなきっかけです。色々な意味で、こんなにも広くて大きな仕事があるんだ！と衝撃を受け、海や船に携わるお仕事へ憧れを抱き始めたのは今でも覚えています。それは社会人になっても忘れられず・・・経営破綻後、転職先を探す時、次は絶対、海運業界に進む！！という思いで、海運関係や港湾関係へ派遣してくれる派遣会社へ迷わず飛び込みました。そこで初めて紹介して頂いたのがここ、水先人会でした。

## ー今の仕事について、やりがい

派遣職員として3か月の試用期間を経て、正式に採用していただきました。当時は料金収受にてお仕事させていただいておりましたが、すべてが知らない世界、初めての世界。当然のことながら、わからない言葉が行きかう中、奮闘していました。その後オペレーション部へ異動し、気づけば入会から早5年半。未だに勉強の毎日です。最近では、新入会職員を迎えるたびに、研修をやらせていただきますが、共に学ばせていただいているのが、本音です(笑)。今はオペレーション部で水先オーダーの受付が主な仕事です。オーダー入力やオーダー内容確認、東京湾内での船舶動静確認など、やっていることは細かく、単純作業ですが、毎日同じ業務の流れでも全く同じ日はありません。この業界だからこそ、日々新鮮で、通勤する道のりで、今日はどんな案件があるだろう。。。と考えることも多々あります。一日が大変忙しく、様々な案件を抱えた日を持ち越えたときにはやりがいも感じます。代理店さんや、オペレーション部の配乗チームと綿密に話し合っけて引き受けたオーダーほど、無事着積したと伺った時には、ほっと安心するとともに大きな達成感も感じます。



3級水先人第5期生  
**赤塚 毅洋**  
(あかつか たけひろ)

大学在学中に、三級水先人の制度が開始されました。水先人に憧れはありましたが、航海士経験がなければ、到底太刀打ち出来ないと考えていた当時、外航船に乗る道を選択しました。最初の転職はシンガポール寄港時に訪れました。それは同年代の水先人が乗船してきたことです。若い水先人に出会ったこと自体が初めての体験だった為、大変衝撃的でした。船舶の輻輳するシンガポール海峡を嚮導し船長に助言をする姿が、当時の私には格好良く映りました。その時、水先人を強く意識するようになり、水先人になりたい気持ちを強く抱きました。そんな矢先、二つ目の転職が下船後に訪れました。それは会社の方針で乗船の機会を失ったことです。今後の自分の進路を見直した時、水先人になりたい気持ちが私を突き動かしました。現在、あの時の自分の気持ちに従った事で、今日の自分がいる事を本当に良かったと思います。以上が私の志望動機です。

私は2015年9月に東京湾水先区にて三級水先人として開業しました。会社での乗船経験はなく、大学を卒業後、三級水先人養成コースを経て今に至りますが、なぜ水先人を志望したかを紹介させていただきます。大学在学中、進路を決定すべき時期には、三級水先人がデビューする前であり、また、自身が社会経験、操船経験ともに無いということで、非常に不安の大きい中での選択であったことを覚えています。当時、少ない情報の中で水先人という職業を知るに伴い、過酷な状況の中ではあるが、長い期間、現場において操船を行うことができるという点に非常に魅力を感じました。しかし、そのような魅力以上に、私の様な素人が足を踏み入れてはいけない世界という思いが強くありましたが、「一歩踏み出し、踏み出すからには突き詰める」という決意のもと今に至ります。今は至らない点ばかりですが、一日でも早く一人前の水先人と認められる日が来るよう、水先人として、また社会人として様々な面から自分自身を磨いていきたいと思っています。



3級水先人第5期生  
**田部井 裕美**  
(たべい ゆみ)



3級水先人第5期生  
**上沼 尚大**  
(かみぬま なおひろ)

このたび、9月1日より入会いたしました上沼と申します。先輩方に倣い、立派な水先人となるべく日々邁進する覚悟であります。私が実習生時分に、練習船で各地の港に入港する際に水先人が乗船してきました。乗船してすぐに船長と信頼関係を築き、本船の性能を把握し、スマートに操船を行う。それは一種の芸術を見ているかのように見えました。彼らは皆生き生きとしており、「あんなに澁刺と仕事ができたらいいなあ」との思いがあり、また海上輸送によって成り立っている自給率の乏しいこの日本という国の生命線の重要な部分を担うことができる点に魅力を感じました。そして、乗船する船舶はさまざま、貨物船から客船、果ては軍艦をも操ることができ、世界中からやって来る船とその乗組員とも一緒に仕事ができることは、自分の能力を磨く良いチャンスであると考え、水先人を志望しました。無冠の外交官の誇りを胸に、また旺盛なるサービス精神を信条に、無事故無違反で水先業務を遂行したいと考えております。

# 「水先人の仕事」と「水先人会の組織」

三級水先人  
夏井 裕希

創刊号の発行に際し、ご家族や外部の方々に向けて、「水先人の仕事」や「水先人会の組織」について簡単に説明させていただこうと思います。

## 1. 水先人(パイロット)とは？

水先人を英語でパイロットと言います。航空機の「パイロット」も、文具メーカーの「パイロット」も、もともとは水先人(パイロット)からきた名称です。パイロットの歴史は古く、紀元前 2,000 年頃までさかのぼるそうです。

ふだん私達が生活している陸上とは違い、海はとても広く感じられます。このため、船はどこを通ってもいいように思われがちですが、東京湾のように交通量の多い水域では、陸上と同じく、安全な航行のためのさまざまなルールが定められています。

例えば、船の通る道(航路)もきちんと定められており、灯台を始めとする標識(航路標識)も数多く設置されています。(中には「浮標」といって、鎖で海底に固定されて、海面に浮かんでいるものもあります)

日本周辺の海は、漁船、旅客船、タンカーや貨物船といった大小様々の船舶が常に行き交っています。特に港の周辺では船舶が集中し、大変混雑しています。

それに加えて、各港にはそれぞれ独特の地形、潮の流れ等があり、特に外国船の船長にとっては極めて船の操縦が困難な水域となっています。このような水域には、船舶交通の安全のために特別な交通ルールが定められており、それに従って航行しなければなりません。そのため、どれほど優秀な船長でも、すべての水域の自然条件や交通ルールを把握するのは不可能です。

そこで、船舶が輻輳する水域を航行する際や、港に出入りする際には、その水域特有の事情を熟知している専門家にアドバイスを受けることになります。その役割を果たすのが「水先人(パイロット)」です。

東京湾内全体で多数の水先人が就業しており、『船舶交通の安全』と『港湾機能の円滑な運営』を担って日夜業務に邁進しております。その扱い隻数は年間で、約 57,000 隻に及びます。

東京湾を航行する船舶は、貨物の種類によって寄港地や航行ルートがさまざまです。それらを簡単にまとめましたので、次の図をご覧ください。

### 東京湾入航時の主なルート 及び 水先人が乗船する船舶



入出港時、タグボートを使用して本船を離着岸させます。

東京湾の入り口(久里浜)でタグボートに乗って、水先をする船(本船)へ向かいます。本船から梯子(パイロットラダー)が下されるので、そこから乗り移ります。

## 2. 「東京湾水先区水先人会」の組織

船舶交通が混雑する港や航行の難所とされる水域は、全国に35の「水先区」として設定されており、「東京湾水先区」もそのひとつです。水先区を航行する船舶には、国土交通省の免許を受けた「水先人」が乗りこみ、船舶を安全かつ速やかに入出港させています。

各水先区には、水先業務を円滑に運営するために水先人会が設置されており、ここ東京湾にも「東京湾水先区水先人会」が設置されています。

現在、「東京湾水先区水先人会」に所属している水先人は177名です。

(1級150名、2級8名、3級19名)

水先人の資格には等級制度があります。この等級は、本人の海上経験や水先履歴などによって定められ、水先人として乗船できる船舶の大きさ・種類(タンカー・LNG船等の「危険物積載船」の区別)が異なります。

水先人会には、安全で円滑な水先業務を支えるため、会長・副会長・常務理事の統括のもと、総務部、経理部、オペレーション部が設置されています。

総務部・・・水先人会全体の運営及び水先人の円滑な業務に携わる部門

経理部・・・水先人会経費処理及び水先料金の請求に携わる部門

オペレーション部・・・水先依頼の受け付け窓口及び水先人の配乗に携わる部門

また、水先人会の適正な運営及び水先業務の円滑な遂行を維持するために、さまざまな委員会があります。

- ・法定委員会として 綱紀委員会 ユーザー対応委員会 事故防止対策委員会 業務運営協議会
- ・常設委員会として 総務委員会 業務委員会 海務委員会 財務委員会 ISO管理委員会 …など



東京湾には、国際戦略港湾である京浜港（港湾法における東京港・川崎港・横浜港を含めた特別港域）の他、国際拠点港湾の「千葉港」及び重要港湾の「横須賀港・木更津港（国際バルク戦略港湾）」があり、大小を問わず1日平均500隻以上のさまざまな船舶が365日24時間にわたって湾内を航行しています。

水先人会は、水先人を必要とする船舶へ水先人がすぐに赴けるように、これらの港に事務所や待機所を設置しています。

### 東京湾水先区水先人会の事務所・待機所



MY FAVORITE

# わたしのお気に入り

## 職場のなかま

“私の好きな○○”と題して、好きなもの、好きなことを語っていただきました！  
創刊号を飾るのは水先人の原田水先人、高橋水先人、  
経理部料金收受チームの阿佐主任です。



水先人  
原田 直昭

社会人になって最初の陸勤時に本格的に開始したのが、剣道でした。乗船等で満足な稽古が出来ませんでした、性に合っていたのか現在までどうにか続いています。

水先人になった翌々年に二回目の受審で七段取得し、今は主に自宅近くの道場に通っています。週二回の稽古は難しいのですが、“交剣知愛”をモットーに“生涯剣道”を目指しております。他に、開業直後から全国のJR線踏破の“乗り鉄”開始。約10年間で99%程に乗車して、ほぼ満足して2～3年前に卒業しました。それ以降は、初心者向けの登山に転向、のんびり写真撮影や高山植物の観察を楽しんでいます。又、今年で5年目になるのが、クラリネット。月2回、若い独身女性講師の個人レッスンを受けています。目、頭、指を使つての老化防止も目的の一つで、大した上達は見込めませんが、年二回の演奏会で若い人たちに交じってピーピーやるのを楽しみにしています。

水先人  
高橋 博



最近お家騒動でワイドショーをにぎわしていた、故山岸一雄さんで有名なつけそばと言えば池袋大勝軒ですが、故山岸さんが休業していた中野大勝軒も格別です。

ただ、私にとってつけそばは曖昧な温度で、そのぬるさが丹精込めたスープの魅力を減じさせているように感じるため、同店のラーメンが私のお気に入りです。このラーメンを更においしく食べる方法があります。

- ①れんげに熱々のスープをすくう
  - ②その上に中野店スペシャルブレンド魚粉を一振り（追加の天然調味料としてテーブルに備え付けられていますが、全てのテーブルにあるわけではないので、入店時の席選びにも注意を払います）
  - ③麺が崩れないように盛り、バランス良くチャーシューとメンマを配して、れんげ上にミニラーメンを作る
  - ④これを一口でほおぼることを繰り返し、麺とスープが冷める前に完食する
- JR中野駅南口徒歩2分。チャンスがあれば是非お試しください。570円です。

職員 経理部  
水先料請求グループ  
主任 阿佐 順江



私が好きなものは料理とマラソン。共通するのは、過程を楽しめる点にある。

最近購入した電子レンジは優れもので、スイッチ一つで肉ジャガが出来上がる。しかし、これではつまらない。煮物は醤油ひと差しを、いつ入れるかで美味しくも不味くもなる。過程があつての結果だからこそ、料理は楽しい。マラソンのテレビ中継も好きだ。2時間テレビの前に座り、選手の腕の振り、足の運び、表情を見て、勝者を予想する。果たして、その予想が当たった時はニヤリとしてしまう。今年、定年を迎える私。このレース最終盤をどう走れるだろうか？ゴールを見据えて、これまで以上に過程を楽しもうと思う。そして、ここからスタートを切る会報にエールを送りたい。

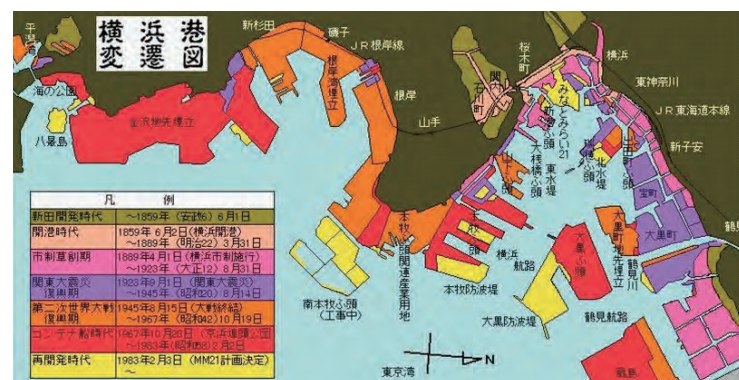
# われらの / 遊び場 横浜編

第1回  
山下町  
周辺

二級水先人  
野村知意

ここは、職場周辺の観光スポット、飲み屋などの遊び場を紹介していくコーナーです。創刊号の今回は、まず本部所在地である山下町周辺のスポットについて少しご紹介いたします。

そもそも横浜とは室町時代の文献に横浜村として初出。水平（横）に長く伸びた砂浜から横浜となった説がある。現在の元町付近から、馬車道辺りを先端に細く半島状に突き出した砂州であり宗閑（洲干）嶋と呼ばれていた。蒔田・井土ヶ谷辺りに大岡川の河口があり、砂州が対岸の野毛辺りまで蓋をするような形で入海と呼ばれる湾を形成していた。



※図は横浜市港湾局のウェブページから転載

1656年、吉田新田の開発に始まり、徐々に埋め立てにより現在の地形に至る。

さて、そんな横浜村の水先人会、そのお隣さんの山下公園は関東大震災の復興事業として造成され、昭和5年に開園された。あの平和な光景に慣れているからか、震災のがれきりで埋め立てられたとは意外である。横浜市によれば日本最初の臨海公園であるとのこと。山下公園からまず目の前に広がるのはやはり大栈橋の客船とベイブリッジ、港の景色だが、ひとしきり眺めたのちに振り返り海を背に見た景色もまた情趣に富む。

氷川丸とともに山下公園の背景を彩るマリントワーは、つい最近までは世界で最も高い灯台（106m）としてギネス登録されていたのをご存じだろうか。

2006年の改修工事の際に、シルバー色を基調としたシンプルなデザインに変更され、それと引き換えに灯台としての登録からは外されることとなった。

航路標識の塗色及び灯質の選定標準として灯台には白・赤・黒しか使用できないことが理由である。筆者はこの工事に関係したので、横浜市の担当職員がぼやいていたのを記憶している。



マリントワーは湾内のポータラジオの受信設備となっている。（ちなみに送信アンテナは港の見える丘公園横の鉄塔にある。）

改修以前はタワー中腹にステーを設け、張出すようにアンテナを設置していたが、作業足場により囲まれることで通信障害を引き起こす可能性が発生したので、これを機に頂上部に移設されたのだ。

少し離れて見上げると、避雷針と並んで4本のアンテナがまるで王冠のようにマリントワーの頂を飾っているのがわかる。

公園前の景色として欠かせないものがもう一つ、ホテルニューグランドであろう。筆者はここで結婚式を挙げたので特別に思い出深い場所である。

そんなホテルニューグランドには特別な料理がある。喫茶店など洋食定番のメニューであるナポリタン、ドリア、プリンアラモードは、実はニューグランドの厨房が発祥だという。

ハンバーガーを懐かしんだマッカーサーのために取り寄せた物資にあったパスタとケチャップから発想。ホテルでケチャップはカジュアル過ぎるため独自のトマトソースを使用したのが発祥ナポリタン。ドリアは初代料理長が体調を崩した銀行家のために即興で創作した料理。米軍高級将校の夫人のために、フルーツやアイスクリームなどを付け合せて出したのがプリンアラモード。ということである。



横浜発祥、ニューグランド発祥のこれら料理は、歴史を感じるホテル本館1階のコーヒーハウス ザ・カフェで味わうことができる。

次の水先業務の行方が気になって、スマートホンやパソコンの画面と睨めっこに疲れたとき、たまにはゆっくりと横浜村でお散歩ランチでもいかがだろうか。



※写真は「横浜マリントワー」「ホテルニューグランド」のウェブページから転載



# 東親会だより

## 東親会とは

平成23年に設立。水先人会職員他39名(11月15日現在)により構成され、会長、副会長、幹事、会計幹事、会計監査の5名の役員を中心に、会員からの会費等で歓送迎会や懇親旅行などを企画・催行し、親睦、共済、福利厚生、並びに明るい職場の確立を図り、合せて水先人会の発展に寄与することを目的とした会。

これまでは、忘年会や新年会、歓送迎会を始め、懇親旅行も行っており、箱根や日光へ足を延ばし、部署を超えての親睦を図っております。今後は職員の教養、趣味、及び娯楽に



▲ 東親会現役員メンバー

関する行事の企画発案が目標です。昨年6月より、青木会長(経理部)、宮ノ原副会長(オペレーション部<ベイ>)、伊藝幹事(オペレーション部<ベイ>)、高木会計幹事(総務部)、笠川会計幹事(オペレーション部<海務>)が選任され、鋭意活動しています。

昨年は懇親旅行を企画してりましたが、あらゆる方面から検討の結果、残念ながら懇親旅行は見合わせ、その代りの企画として、横浜の老舗ホテル“ホテルニューグランド”にてちょっと豪華なパーティーを行いました。今回は、このパーティーの様子をスナップ写真でちょっとだけご紹介☆



参加者は東親会会員33名と、特別ゲストとして石橋会長、井上副会長、西本常務理事、船藏常務理事にもご参加いただきました。

# Topics

## マイナンバー制度が始まります



マイナンバー制度とは、「社会保障・税番号制度」のことで住民登録しているすべての国民に対して12ケタの番号が付与され、2016年1月以降、主に社会保障、税務、災害補償の各分野で活用されます。

### 1. マイナンバー受け取りましたか

原則として、マイナンバーは住民票の世帯ごとに送付されます。住民票住所と異なるところにお住まいの方は受け取ることができない可能性があります。現段階で受け取られていない方は住民登録した市町村役場へお問い合わせください。



見本

### 2. マイナンバー制度実施の流れ

今後、マイナンバーは国民の利便性向上及び行政の効率化に資するため次の運用が予定されています。

平成28年1月  
マイナンバー利用開始  
(社会保障、税務、災害補償)

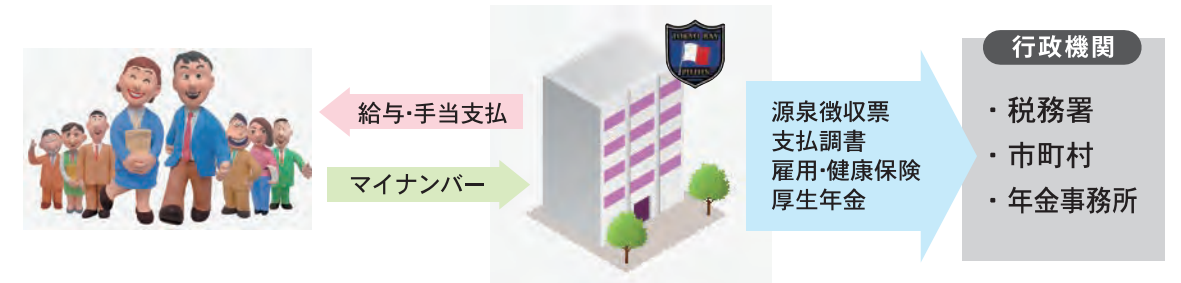
平成29年1月  
個人ごとのポータルサイト運用  
(ホームページ上のマイページ)

平成29年7月  
地方公共団体も含めた  
情報連携開始

### 3. マイナンバーの利用について

水先人会は会員、職員の源泉徴収票、支払調書等の行政機関への提出他、法令に基づく義務を履行するため順次、マイナンバーを取得します。

依頼を受けたら速やかに必要書類を事務局(総務部)へ提出してください。



### 4. マイナンバーの取り扱い

東京湾水先区水先人会は「特定個人情報に関する基本方針」を策定し安全に取り扱います。法令の手続きで行政機関や本会に提示する以外むやみにマイナンバーを他人に教えないようにしましょう。

(本項は、総務省のウェブサイトなどから転載・編集して作成しました。)

## 横須賀事務所を模様替えしました

横浜港強制水先対象船舶のトン数緩和に伴い、水先人就業体制の見直しを実施され、本会 横須賀事務所内利用者の増加や滞在時間の長期化が進行しており執務、待機環境の整備が急務とされていました。その対策の一環として、執務区画と談話区画の切り分けなど次のとおり業務環境の改善を図りました。

### 1. 執務区画の新設

会議室の操船シミュレータを管理者のご協力により撤去後、1/2の当該区画を執務スペースとしました。ここにPC1台を増設の上、2台配置し、待ち時間を短縮します。

また、これまで混在していた執務スペースと談話スペースを分離し、業務の効率化を図りました。さらに、修業生控室を事務部奥に配置しました。

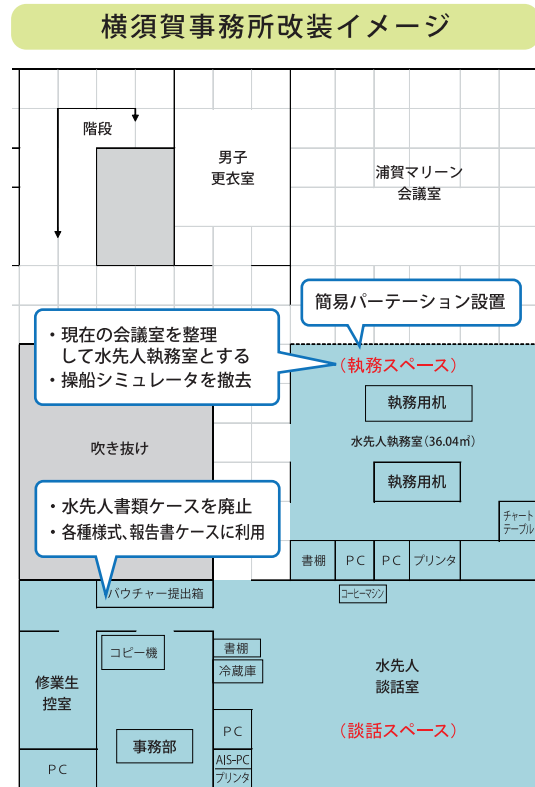
### 2. 談話、待機区画の充実

全自動コーヒーマシンを設置しました。手軽にリフレッシュしてください。円滑なコミュニケーション、集中力のアップに効果的です。

### 3. 執務環境の整備

水先人別書類ケースを廃止し、業務用指定様式を収納、保管します。

また、業務用図書、資料を整理し事前準備、手仕舞いの効率化を図ります。



※H27.11.10現在の模様替え予定内容です。諸般の状況によりレイアウト等、若干、変更する場合があります。予めご了承ください。

## 広報チーム メンバー紹介

広報チームの栄えあるスターティングメンバーをご紹介します。



《前列右から》

- 大須賀 祥浩 (おおすか しょうひろ) ..... 1級水先人 4年目。RPM(回転数)高め、馬力で引っ張る我が広報部リーダー。
- 馬淵 詩織 (まぶち しおり) ..... オペレーション部 6年目。水先人会の未っ娘的、かつ若手水先人のお姉さんの存在。眼鏡がオシャレ。
- 夏井 裕希 (なつい ひろき) ..... 3級水先人 3年目。いつもニコニコ仏の表情。夜は黄金町エリアの水先案内人か。愛されキャラクター No.1。

《後列右から》

- 船藏 和久 (ふなくら かずひさ) ..... 常務理事(1級水先人) 11年目。本誌のアイデア発起人。オペレーション部のガーディアン。
- 野村 智意 (のむら ともおき) ..... 2級水先人 5年目。2月に男の子のパパになりました。要減量&プリン体注意。
- 古江 剛志 (ふるえ たけし) ..... 3級水先人 3年目。若手水先人のご意見番。ロイヤルウィングバイト経験を持つオールマイティ。
- 押本 耕市郎 (おしもと こういちろう) ..... 総務部長 27年目。何でも知ってる水先人の強い味方。実は夏井さんの大学の先輩。
- 宮ノ原 弦 (みやのほら ゆづる) ..... オペレーション部 4年目。よく間違えられますが、正真正銘純粋の日本人です。元東洋信号マン。
- 西本 哲明 (にしもと とつあき) ..... 常務理事(1級水先人) 11年目。ハーバー作業ならこの人に聞け。話があるなら6階へ。

以上、常務理事2名+7名のチームでスタートしました。

年4回、皆さんにフレッシュで明るく楽しい話題をお届けするのが目標です。

不慣れにつき当分はお見苦しい点多々あるかと思いますが、一同で力を合わせて頑張っていきますので温かく見守って戴けたら幸いです。

上記のメンバーが、寄稿のお願いに伺うかもしれません。その際にはご協力をお願い致します。また、記事に関するご意見やアイデアはいつでも大歓迎です。お待ちしております！

## 人事短信

退会



石河 博史  
(一級水先人)

平成9年1月入会  
平成27年10月31日退会

退会



佐藤 克弘  
(一級水先人)

平成7年1月入会  
平成27年11月30日退会

退会



竹花 世紀  
(一級水先人)

平成6年1月入会  
平成27年11月30日退会

長い間、安全運航お疲れさまでした。

